



資料1

宮崎県の循環器病対策の推進について

宮崎県循環器病対策推進協議会

日時：2023年2月13日（月）18:30～20:00

場所：宮崎県防災庁舎2階プレスルーム

- 宮崎県の循環器病の現状
- 本県の取組
- 脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業
について
- 国の第2期基本計画(案)の項目
- 今後のスケジュール(案)

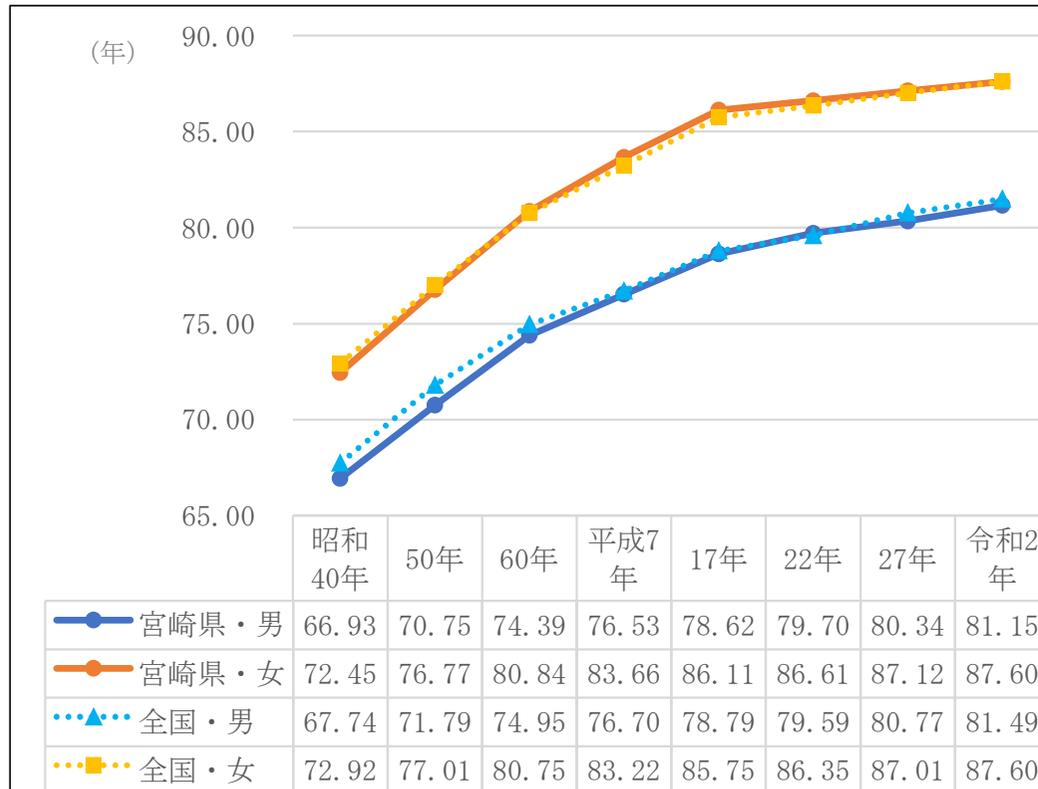
- ・宮崎県の循環器病の現状
- ・本県の取組
- ・脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業
について
- ・国の第2期基本計画(案)の項目
- ・今後のスケジュール(案)

宮崎県の循環器病の現状

— 健康寿命 —

- 県の平均寿命は、全国平均と同様に年々延びている。
- また、令和元年の県の健康寿命は、男性が73.30年、女性が76.71年になっている。
- 県の平均寿命と健康寿命の差(介護を要する等、日常生活に制限のある期間)は、男性が7.95年、女性が10.91年となっており、全国値より短い。

○平均寿命の推移



資料:厚生労働省「都道府県別生命表」

○健康寿命と平均寿命(令和元年)

区分	宮崎県		全国	
	男	女	男	女
健康寿命 (日常生活に制限のない期間の平均)	73.30年 (全国9位)	76.71年 (全国3位)	72.68年	75.38年
平均寿命 (健康寿命と不健康な期間の合計)	81.25年	87.62年	81.41年	87.45年
不健康な期間 (日常生活に制限のある期間の平均)	7.95年	10.91年	8.73年	12.06年

資料:厚生労働科学研究「健康寿命及び地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究」「健康日本21(第二次)の総合的評価と次期健康づくり運動に向けた研究」において算出

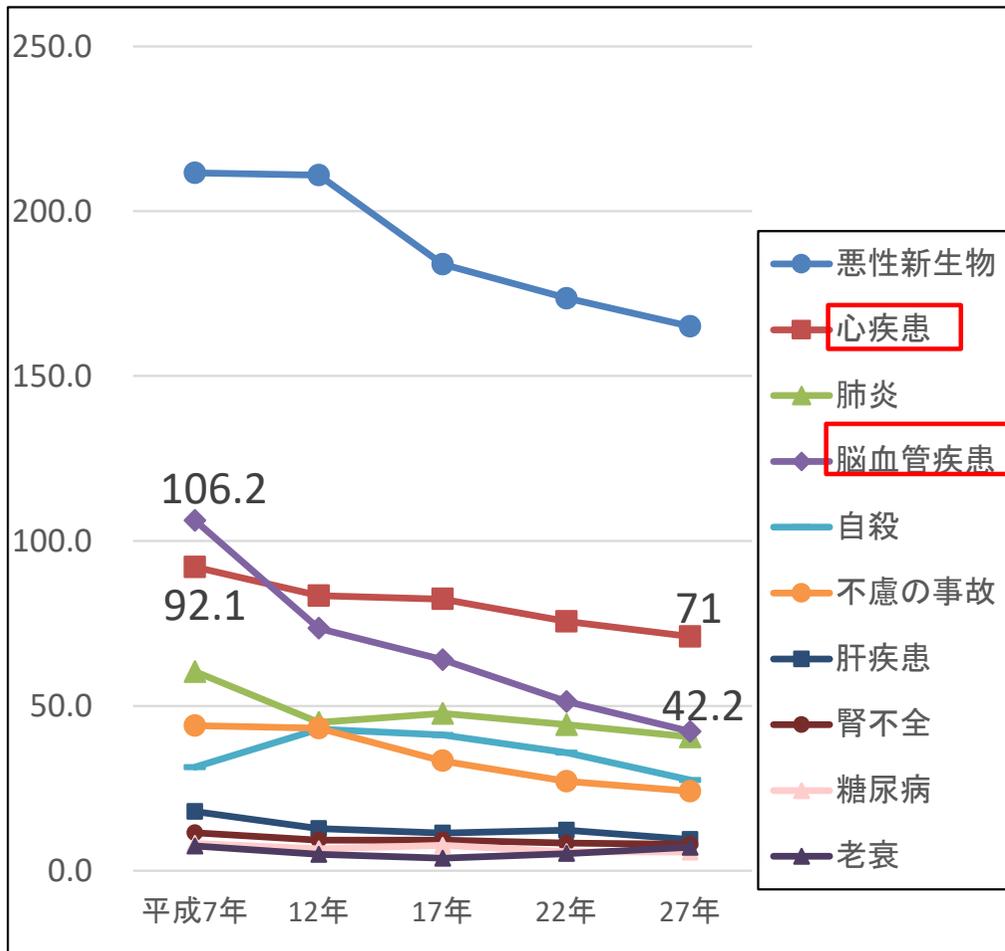
宮崎県の循環器病の現状

— 死亡 —

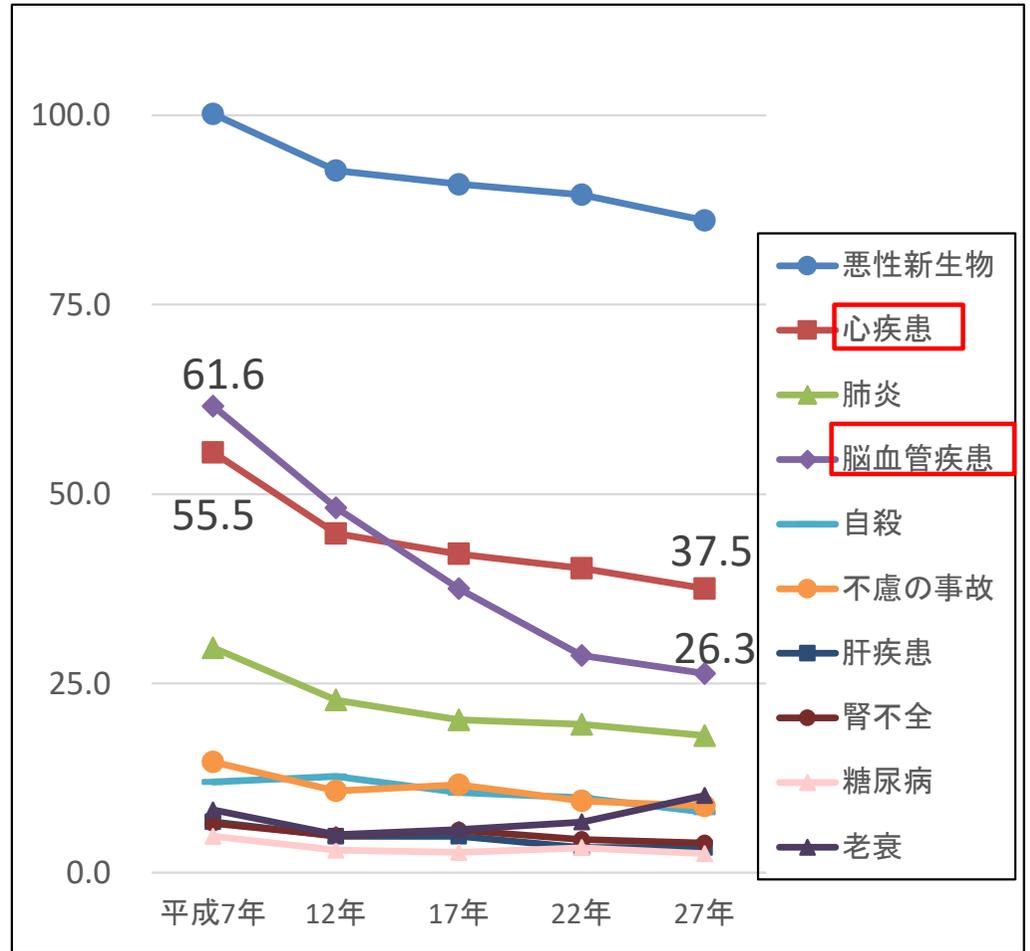
● 県の主な死因別の年齢調整死亡率の推移は、循環器系の疾患(心疾患、脳血管疾患)において男女ともに減少傾向を示している。

○宮崎県の死因別年齢調整死亡率(人口10万対)

男性



女性



※令和2年分は令和5年12月頃公表予定

資料:厚生労働省「人口動態統計特殊報告」

宮崎県の循環器病の現状

— 死亡 —

● 県の循環器系の疾患(心疾患、脳血管疾患)の年齢調整死亡率は全国に比べ男女ともに高い。

○生活習慣病の年齢調整死亡率の年次推移(人口10万対)

男性	悪性新生物			心疾患			脳血管疾患			糖尿病		
	宮崎県		全国	宮崎県		全国	宮崎県		全国	宮崎県		全国
	死亡率	全国順位(7-スト)		死亡率	全国順位(7-スト)		死亡率	全国順位(7-スト)		死亡率	全国順位(7-スト)	
平成2年	207.7	27	215.6	142.4	16	139.1	105.2	13	97.9	6.0	41	7.5
7年	211.6	35	226.1	92.1	34	99.7	106.2	13	99.3	8.3	37	10.1
12年	210.9	23	214.0	83.4	30	85.8	73.5	23	74.2	6.6	41	7.8
17年	183.9	38	197.7	82.4	26	83.7	64.0	18	61.9	7.7	17	7.3
22年	173.6	36	182.4	75.6	18	74.2	51.3	16	49.5	5.7	35	6.7
27年	165.1	20	165.3	71.0	11	65.4	42.2	14	37.8	5.6	27	5.5

女性	悪性新生物			心疾患			脳血管疾患			糖尿病		
	宮崎県		全国	宮崎県		全国	宮崎県		全国	宮崎県		全国
	死亡率	全国順位(7-スト)		死亡率	全国順位(7-スト)		死亡率	全国順位(7-スト)		死亡率	全国順位(7-スト)	
平成2年	98.9	38	107.7	84.5	30	88.5	65.5	29	68.6	5.6	22	5.7
7年	100.2	36	108.3	55.5	29	58.4	61.6	27	64.0	4.8	45	6.6
12年	92.7	44	103.5	44.8	35	48.5	48.2	15	45.7	3.0	43	4.4
17年	90.9	34	97.3	42.1	36	45.3	37.5	17	36.1	2.7	46	3.9
22年	89.5	26	92.2	40.2	19	39.7	28.7	16	26.9	3.3	22	3.3
27年	86.1	23	87.7	37.5	13	34.2	26.3	8	21.0	2.5	17	2.5

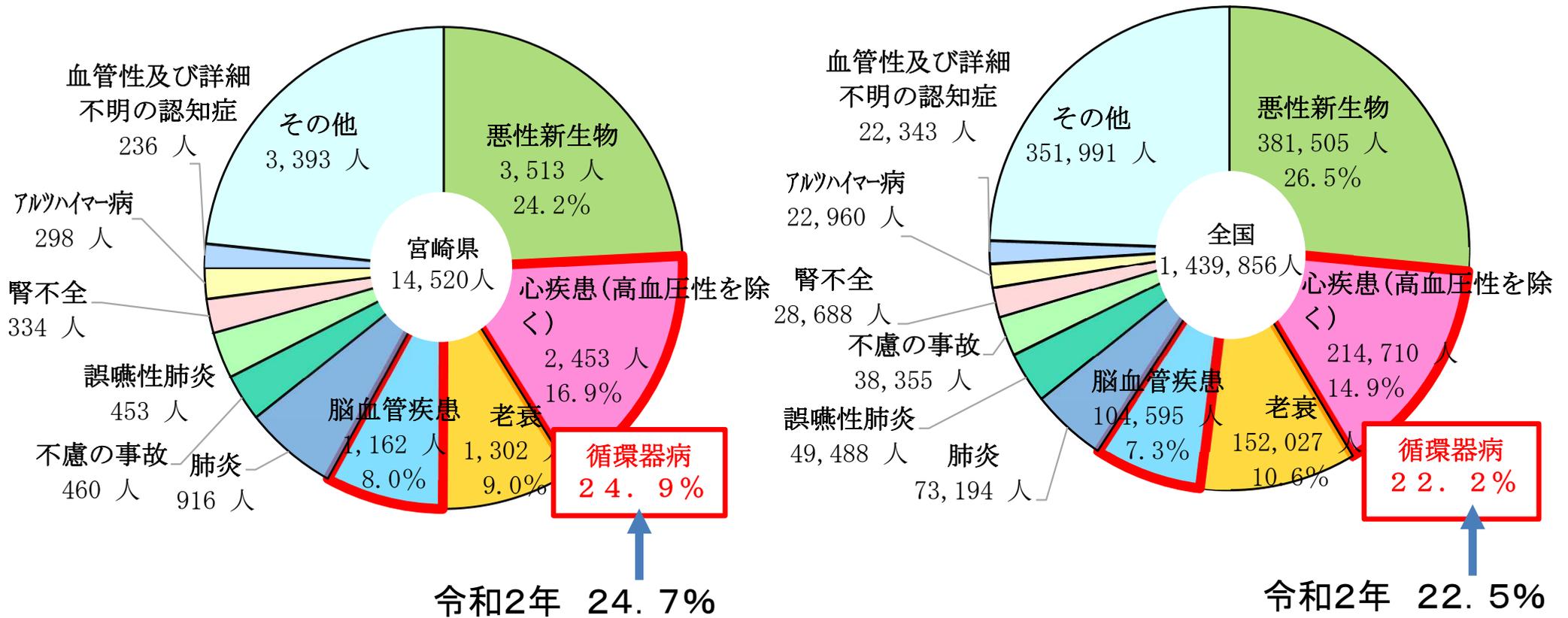
資料:厚生労働省「人口動態統計特殊報告」

宮崎県の循環器病の現状

— 死因 —

● 令和3年の県の主要死因別死亡数・割合をみると、心疾患と脳血管疾患を合わせた循環器病が全死亡原因の24.9%を占めており、全国に比べ高い。

○主要死因別死亡数・割合(令和3年)



宮崎県の循環器病の現状

— 死因、年齢別 —

- 令和3年の年齢階級別の主な死因をみると、40代以上は「悪性新生物」が死因の半数近くを占める一方で、加齢とともに「心疾患」や「脳血管疾患」も増えている。

○宮崎県の年齢階級別の死因順位(令和3年)

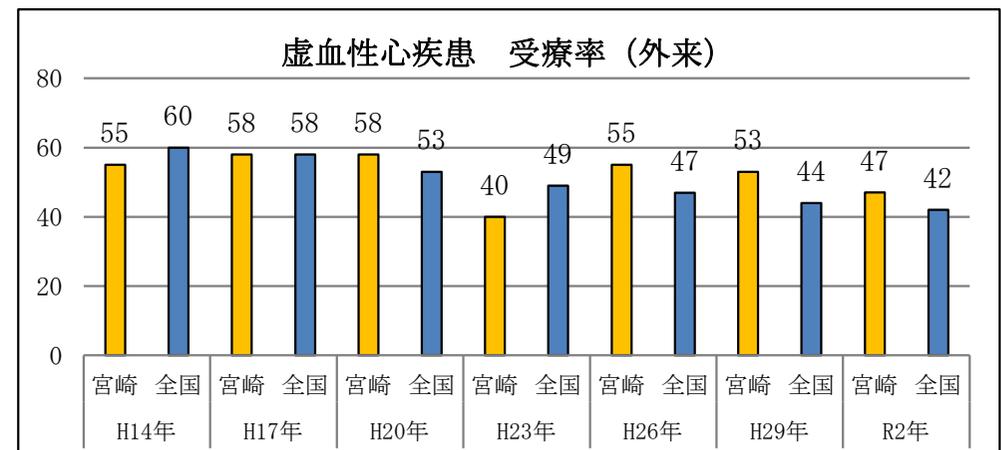
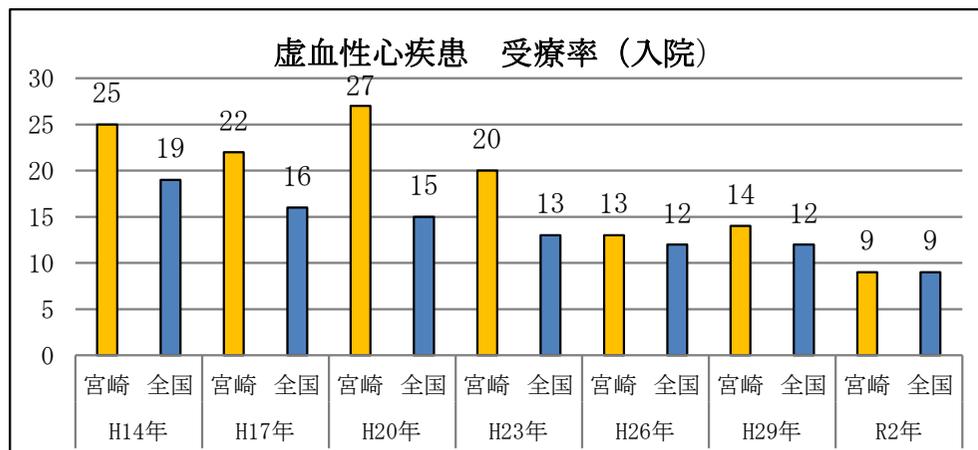
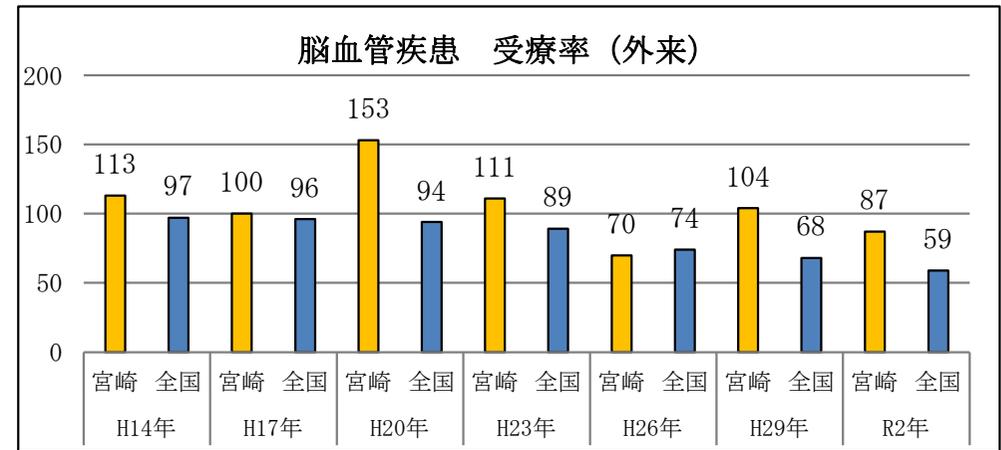
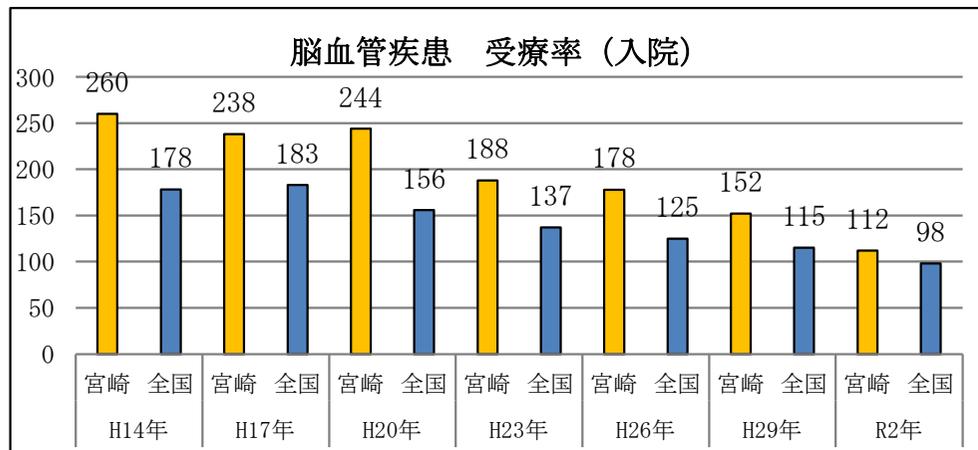
年齢階級	1位		2位		3位	
00～04歳	その他の神経系の疾患 その他の外因	13.0%	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害 神経系の先天奇形 循環器系の先天奇形 乳幼児突然死症候群	8.7%		
05～09歳	その他の呼吸器系の疾患	100.0%				
10～14歳						
15～19歳	自殺	50.0%	その他の神経系の疾患 不慮の事故	18.8%	悪性新生物<腫瘍> 高血圧性疾患	6.3%
20～24歳	自殺	72.7%	不慮の事故	18.2%	その他の神経系の疾患	9.1%
25～29歳	自殺	48.0%	悪性新生物<腫瘍>	16.0%	その他の神経系の疾患	8.0%
30～34歳	自殺	37.5%	悪性新生物<腫瘍>	33.3%	心疾患(高血圧性を除く)	12.5%
35～39歳	悪性新生物<腫瘍> 自殺	25.6%	心疾患(高血圧性を除く) 不慮の事故	10.3%	脳血管疾患 肝疾患	7.7%
40～44歳	悪性新生物<腫瘍>	36.8%	自殺	23.7%	心疾患(高血圧性を除く)	7.9%
45～49歳	悪性新生物<腫瘍>	40.4%	自殺	13.1%	心疾患(高血圧性を除く)	12.1%
50～54歳	悪性新生物<腫瘍>	36.0%	脳血管疾患	13.4%	自殺	11.0%
55～59歳	悪性新生物<腫瘍>	41.8%	心疾患(高血圧性を除く)	11.1%	脳血管疾患	7.6%
60～64歳	悪性新生物<腫瘍>	47.7%	心疾患(高血圧性を除く)	13.6%	脳血管疾患	6.3%
65～69歳	悪性新生物<腫瘍>	45.2%	心疾患(高血圧性を除く)	10.6%	脳血管疾患	8.1%
70～74歳	悪性新生物<腫瘍>	41.1%	心疾患(高血圧性を除く)	12.8%	脳血管疾患	8.3%
75～79歳	悪性新生物<腫瘍>	35.5%	心疾患(高血圧性を除く)	13.5%	脳血管疾患	7.7%
80～84歳	悪性新生物<腫瘍>	27.7%	心疾患(高血圧性を除く)	15.1%	脳血管疾患	8.2%
85～89歳	悪性新生物<腫瘍>	19.5%	心疾患(高血圧性を除く)	18.5%	脳血管疾患	8.3%
90～94歳	心疾患(高血圧性を除く)	20.2%	老衰	15.0%	悪性新生物<腫瘍>	13.7%
95～99歳	心疾患(高血圧性を除く) 老衰	23.4%	悪性新生物<腫瘍>	8.0%	脳血管疾患	7.8%
100歳～	老衰	41.3%	心疾患(高血圧性を除く)	18.4%	悪性新生物<腫瘍>	6.6%
全体	悪性新生物<腫瘍>	24.2%	心疾患(高血圧性を除く)	16.9%	老衰	9.0%

宮崎県の循環器病の現状

— 罹患 —

● 県の受療率(推計患者数を人口10万対であらわした数)は、脳血管疾患、虚血性心疾患が入院・外来ともに全国に比べ高い。

○受療率

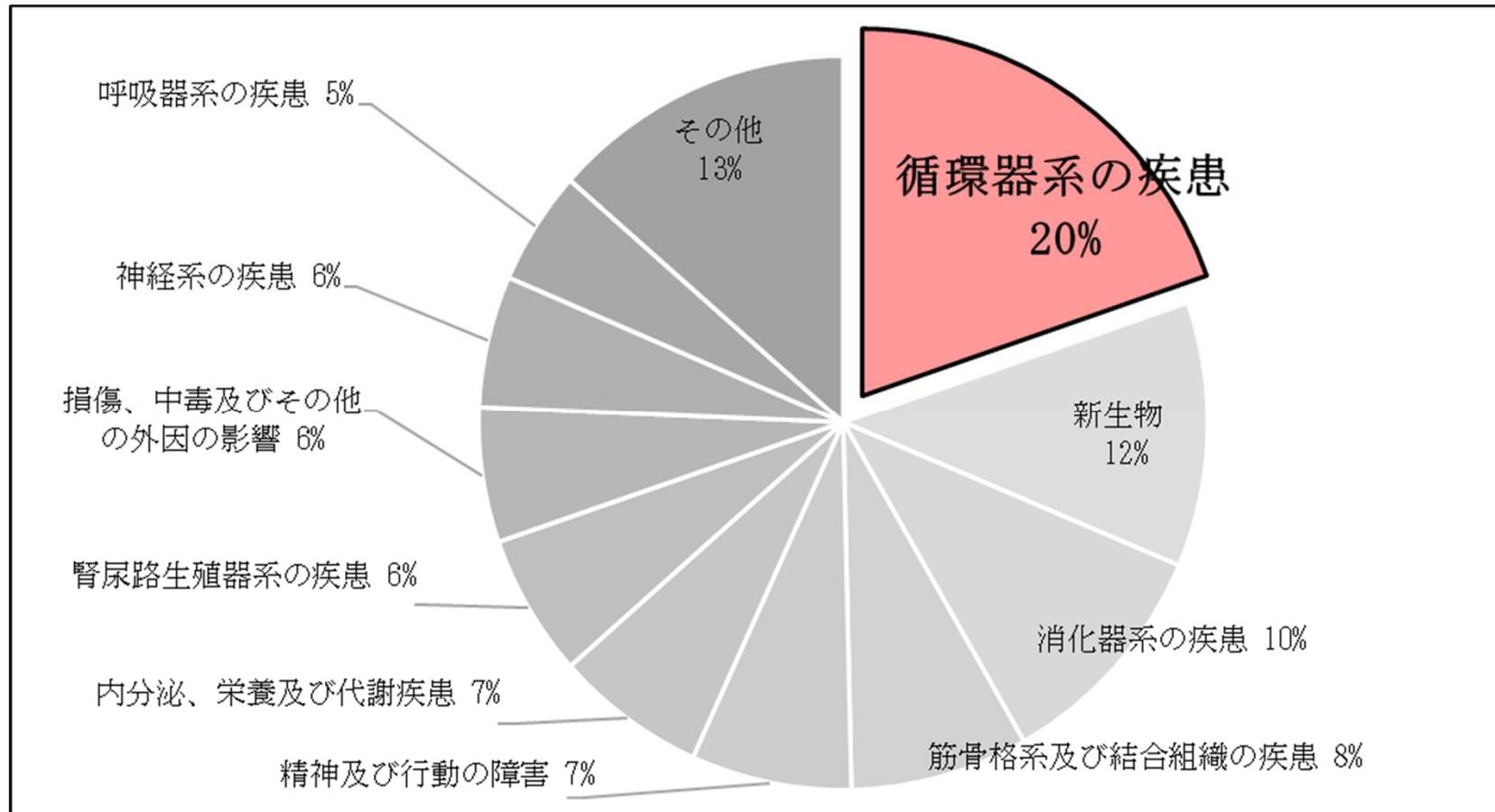


宮崎県の循環器病の現状

— 医療費の内訳 —

- 疾病別医療費のうち循環器系の疾患が占める割合は、2020年度も第1位となっている。

○2020年度 疾病別内訳(医療費)



出典：厚生労働省「都道府県別データブック(2020年度診療分のNDBデータ)」
市町村国保、後期高齢、国保組合、被用者保険について入院(医科入院+DPC)、
入院外(医科入院外+調剤)、歯科を集計。入院、歯科には食事療養費・生活療養費を含む。

宮崎県循環器病対策推進計画

— 指標 —

項 目			計画策定 時点	目標値 (令和5年度)	現状値
一次 予防	高血圧の改善(収縮期血圧の平均値の低下) ※出典:宮崎県「県民健康・栄養調査」	男性	137mmHg	134mmHg	137mmHg
		女性	136mmHg	130mmHg	136mmHg
			(平成28年度)		(平成28年度)
二次 予防	特定健康診査の実施率 ※出典:厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」		49.8% (令和元年度)	70%	49.9% (令和2年度)
医療 体制	退院等の生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合 ※出典:厚生労働省「患者調査」		59.0% (平成29年)	62.1%	59.0% (平成29年)
	心大血管疾患リハビリテーションを実施できる医療機関数 ※出典:みやざき医療ナビ		16 (令和3年度)	17	16 (令和4年度)

循環器病に関する本県の取り組み(抜粋)

※生活習慣病等の疾病に絡めて結果的に循環器病に関する取組も含め幅広く記載

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

ベジ活・へらしお・食品表示・1日プラス10分運動推進・がん検診・喫煙・歯と口の健康、ロコモ予防等についてイベント等で普及啓発を実施している。また、健康経営に積極的な企業や事業所を表彰する健康長寿推進企業等知事表彰を実施している。SNS活用、マスメディア連携等により循環器病の予防、重症化予防、発症早期の適切な対応等について普及啓発を実施している。

健康ハートの日、健康増進普及月間のテレビ・ラジオ・SNS・新聞・県庁ホームページを活用し啓発
世界脳卒中デー、脳卒中月間における県庁本館ライトアップ、上記媒体を活用し啓発
健康長寿サポートサイト及びInstagram、Facebookを活用し健康づくり情報発信
県広報誌に1日プラス10分運動推進の記事掲載



2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

(1) 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進

特定健康診査や特定保健指導の実施率向上のため、5月と10月を健康診査広報月間とし、県内一斉広報（テレビCM、YouTube広告、県広報媒体活用）を実施。業務従事者の資質向上のため研修会を開催している。また、未治療者や治療中断者に対する受診勧奨を促進するため、市町村が対象者を容易に抽出できるようシステムを整備し支援している。

(2) 医療提供体制の充実

発症時の速やかな救急要請について啓発を実施し、市町村へリーフレットを送付している。

県メディカルコントロール協議会へ参画・協議し、搬送先選定等に係る医療機関と搬送機関との協議の推進、相互の連携強化を図っている。また、宮崎大学医学部の救急医確保・養成に対する支援や県医師会への委託業務である救急医療施設医師等研修委託事業の実施により高度化する救急医療に対応できる医療従事者の養成に努めている。

脳卒中については、宮崎大学と連携した、遠隔診療システムの利用拡大に向けた検討・協議を行っている。

心血管疾患については、クラウド型12誘導心電図伝送システムの導入を支援している。

救急医療機関の機能分化・連携促進のため、脳卒中や急性心筋梗塞の救急医療拠点となっている医療機関の機能強化を図るために必要な設備整備を支援している。

(3) 多職種連携による循環器病患者支援

県内の在宅医療・介護の推進を図るため、医療・介護関係者等で構成する多職種協働による宮崎県医療介護推進協議会を設置し、方針の決定、課題の抽出と対応策の検討等を行っている。また、医療圏ごとの「入退院調整ルール」を運用し、効果等の検証・改善を行っている。在宅医療を支える様々な専門職の人材育成や連携協働を深めるため研修を実施している。

歯科や医療、介護施設等職員との連携調整会議の開催、在宅歯科にかかる窓口の設置等、在宅歯科医療の推進を図っている。

また、フレイル予防啓発を目的としたリーフレット作成や公開講座を開催している。

後遺症のひとつである高次脳機能障がい確定診断やリハビリ医療機関の情報を整理し、県ホームページ上での公開に向けた作業を進めているほか、高次脳機能障がい通所センター運営事業を実施している。また、支援コーディネーター等による相談支援を随時実施するとともに、てんかんについて関係機関との連携を推進し、失語症者の支援者養成・人材確保を進めている。

宮崎産業保健総合支援センターとの連携や障害者就業・生活支援センター設置により患者の状況に応じた治療と仕事の両立支援を行っている。

- ・宮崎県の循環器病の現状
- ・本県の取組
- ・脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業
について
- ・国の第2期基本計画(案)の項目
- ・今後のスケジュール(案)

●事業内容

都道府県の循環器病対策推進計画や、循環器病対策推進協議会等の議論も踏まえ、自治体や関連する学会等とも連携しながら、以下の内容に関する事業を行う。

- ・循環器病患者・家族の相談支援窓口の設置(電話、メール相談を含む)
- ・地域住民を対象とした循環器病について、予防に関する内容も含めた情報提供、普及啓発
- ・地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会等の開催
- ・相談支援を効率的に行う、資材(パンフレットなど)の開発・提供
- ・その他、総合支援を効率的に行うために必要と考えられるもの

脳卒中・心臓病等総合支援センターが設置される施設は、以下の施策の全てを推進できるように努めること。

- ・療養上の意思決定や問題解決、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)等に関する情報提供等
- ・急性期から回復期および維持期(生活期)まで一貫性を持ったリハビリテーション治療の提供等の取組の推進
- ・循環器病に関する、超高齢社会の対応と地域包括ケアシステムとの協働
- ・循環器病に関する、疾患、治療、リハビリテーション、介護、心理サポート、就労支援、障害(心機能障害、高次脳機能障害等)、福祉サービスなどに関する適切な情報提供と相談支援
- ・循環器病患者・家族等に対して、苦痛やその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題への適切な緩和ケアの提供、特に重症例に対し療養と緩和に関する情報提供および支援(精神的なケアを含めた必要な専門領域と連携)
- ・治療早期からの社会復帰を目指した治療計画、介護・福祉制度の利用と、ピアサポート・患者会等の紹介と連携の支援
- ・就労を視野に入れた、急性期から維持期まで一貫した医療の連携支援と、個々の患者の状態に応じた就労評価の推進
- ・医療機関と事業者の連携を支える両立支援コーディネーターを活用した、就労支援・両立支援
- ・小児期・若年期から成人期までの一貫した循環器病の診療支援
- ・先天性もしくは小児期発症の脳卒中、心臓病その他の循環器病を持つ患者・家族に対して、専門的な立場からの医療・福祉の情報提供

令和5年度当初予算案 2.8 億円 (2.0億円) ※ ()内は前年度当初予算額

1 事業の目的

- 循環器病対策推進基本計画で、脳卒中・心臓病等（循環器病）患者を中心とした包括的な支援体制を構築するため、多職種が連携して、総合的な取組を進めることとしているが、これまでに都道府県が医療計画などで実施している対策よりも幅広い内容であり、各医療施設で個々の取組はされているものの情報が行き渡っているとはいえず、全ての支援について、十分なレベルで提供することに対して課題がある。
- この取組を効果的に推進するため、専門的な知識を有し、地域の情報提供等の中心的な役割を担う医療機関に脳卒中・心臓病等総合支援センターを配置し、都道府県と連携しつつ、地域の医療機関と勉強会や支援方法などの情報提供を行うなど協力体制を強化し、包括的な支援体制を構築することにより、地域全体の患者支援体制の充実を図ることを目的とする。

2 事業の概要・スキーム

<事業の概要> 都道府県の循環器病対策推進計画等を踏まえ、自治体や関連する学会等とも連携しながら、以下の内容に関する事業を行う。

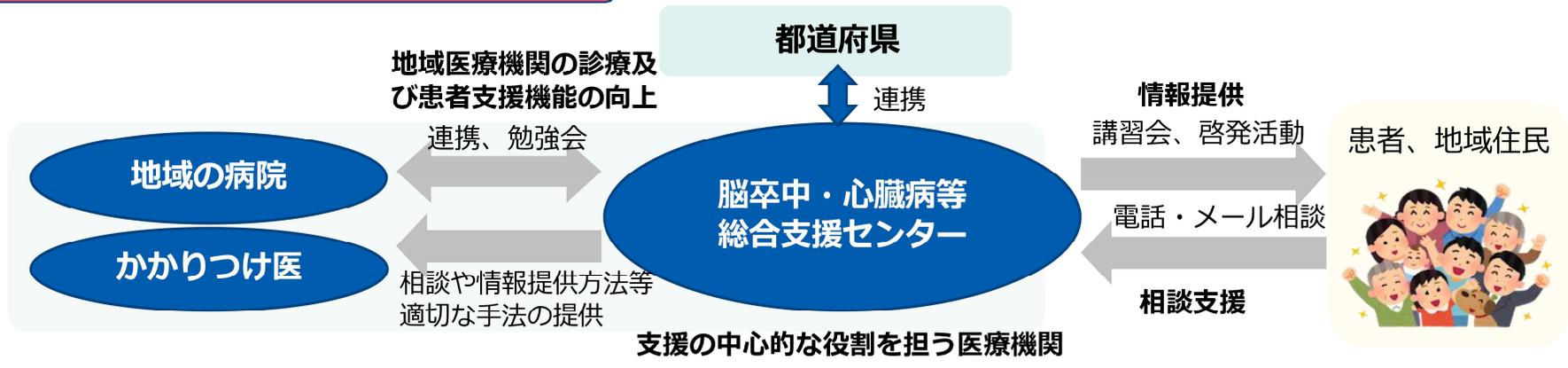
- ・循環器病患者・家族の相談支援窓口の設置（電話、メール相談を含む）
- ・地域住民を対象とした循環器病について、予防に関する内容も含めた情報提供、普及啓発
- ・地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会等の開催
- ・相談支援を効率的に行う、資材（パンフレットなど）の開発・提供
- ・その他、総合支援を効率的に行うために必要と考えられるもの

<期待される効果>

- ・地域医療機関の診療及び患者支援機能の向上が可能となる
- ・国民がワンストップで必要な情報を得られるとともに、より効率的かつ質の高い支援が可能となる

脳卒中・心臓病等総合支援センターのイメージ

本モデル事業の有効性を検証した上で、好事例として横展開を図る等により将来的に全国に広げることを検討

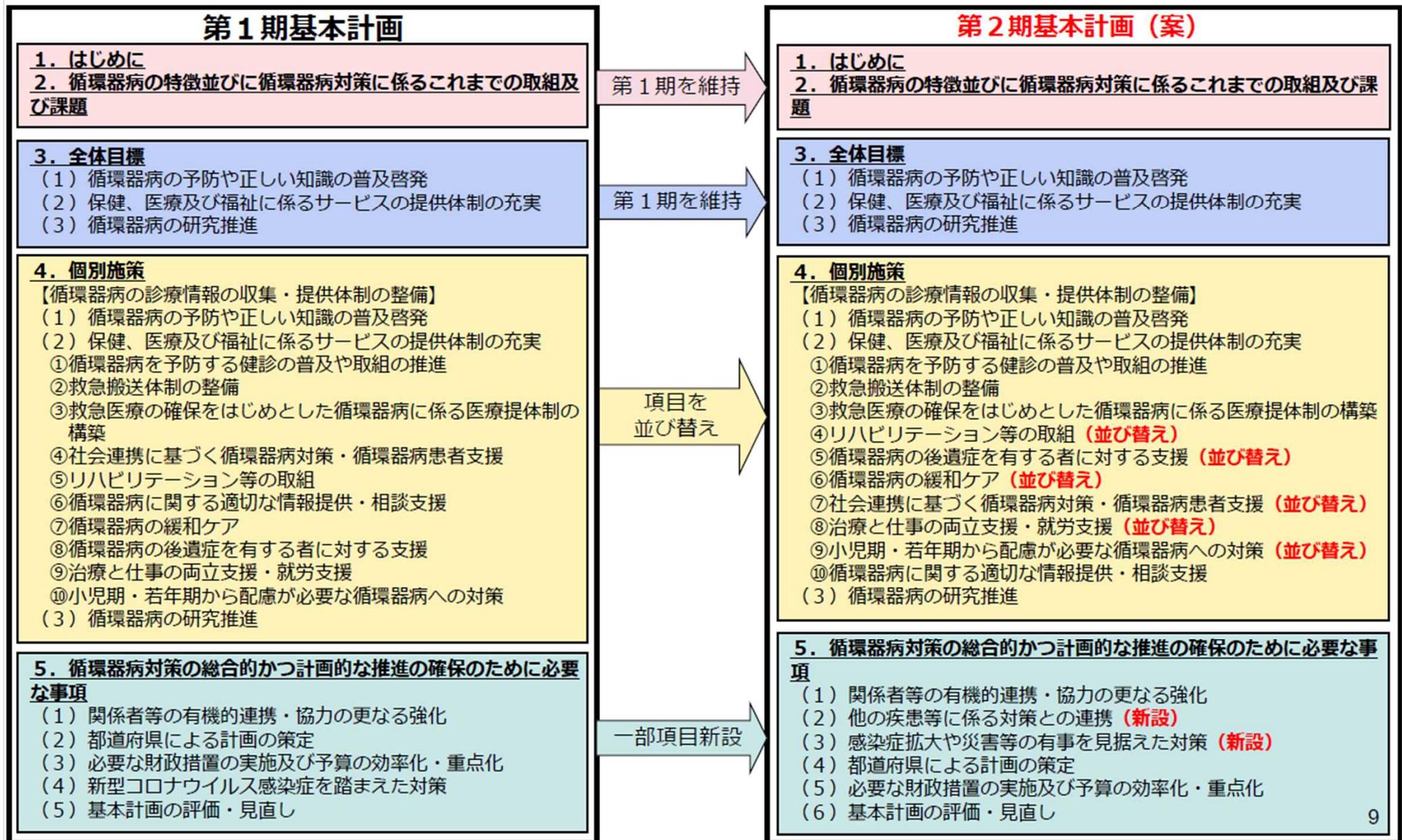


3 実施主体等

- ◆実施主体：各都道府県において、脳卒中・心臓病等の循環器病に対する中心的な役割を担う医療機関
- ①先天性疾患に対する診療、外来リハビリテーション、緩和ケア等、循環器病に対する総合的な診療を行える施設であり、地域の病院、かかりつけ医などとも密接に連携が取れること
- ②自治体との密な連携が取れ、循環器病の後遺症を有する者に対する支援及び治療と仕事の両立支援・就労支援を行っていること
- ◆箇所数：15箇所 ◆1箇所あたり：1,800万円程度 ◆補助率：定額（10/10相当） ◆事業実績：令和4年度応募数32病院、採択数12病院

- ・宮崎県の循環器病の現状
- ・本県の取組
- ・脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業
について
- ・国の第2期基本計画(案)の項目
- ・今後のスケジュール(案)

循環器病対策推進基本計画における項目の整理のイメージ



今後のスケジュール(案)について

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
国	循環器病対策 基本法	施行 令和元年12月1日						
	循環器病対策 推進協議会	循環器病対策推進協議会 令和2年1月～						
	循環器病対策 推進基本計画		第1期 令和2年10月策定、計画終期は令和5年3月			第2期 令和5年度～		
県	宮崎県 循環器病対策 推進協議会			計画策定にむけて 協議(3回)	評価、対策推進の ため協議	次期計画策定に むけて協議	評価、対策推進の ため協議	
	宮崎県 循環器病対策 推進計画				令和4年度～令和5年度		次期計画 令和6年度～	
他計画	第7次 宮崎県医療計画	第7次 平成30年度～令和5年度			中間見直し 令和3年度		次期計画 令和6年度～	
	健康みやざき 行動計画21 (第2次)	第2次 平成25年度～令和5年度(中間見直し 平成30年度)						次期計画 令和6年度～
	宮崎県 高齢者保健 福祉計画	第8次 平成30年度～令和2年度		第9次 令和3年度～令和5年度				次期計画 令和6年度～